

最新の

対話

のスキルによる

農福連携

を進める

極意

～研修&対話サロンで楽しい実践を～

郡山市では、令和元年より農福連携推進モデルの構築・発展に取り組み、関係者間のネットワーク形成が進められてきました。令和7年7月には、こおりやま農福連携協議会が設立され、地域における農福連携の基盤が整いつつあります。これまでに蓄積されてきた農福連携の資源や取組を活かし、次の段階へと発展させていくため、このたびワークショップを開催いたします。

本ワークショップのキーワードは「対話」です。多様な立場の人々が交流し、情報を共有しながら実践を深めていくためには、建設的な対話のスキルが欠かせません。今回は、最新の対話スキルを学ぶとともに、それを実際に体験・活用する「対話の場」を設けます。

ユニークで楽しい、郡山ならではの農福連携の新たな取り組みが生まれることを目指します。ぜひご参加ください。(※本ワークショップは【全2回】の連続開催のため、原則として両日ご参加いただける方を対象としています)



講師

釘山 健一 氏

一般社団法人
会議ファシリテーター普及協会 代表

対話・会議の専門家として行政・企業・NPOなどで約1000回の研修実績を持つ。

その研修は明るく楽しく、参加者を決してあきさせないと全国で大評判。

対話の場
(新しい型のワークショップ)の様子

1回目:研修

最新の対話のスキルである「日本型ファシリテーション」について学びます。

2回目:対話の場の体験

対話の場とは“ワークショップ”的こと。全員発言する楽しい対話の場を体験します。

(※本ワークショップは【全2回】の連続開催のため
原則として両日ご参加いただける方を対象としています)

お申し込み・お問い合わせ先

こおりやま農福連携協議会事務局

事務局:認定NPO法人キャリア・デザイナーズ(担当:鈴木)

郡山市昭和二丁目2-7さとうビル2F

TEL 024-973-5667 FAX 024-973-6116

E-mail koriyamanoufuku@npocd.jp

URL <https://noufuku.npocd.jp/>

▲WebSite

▲QRコードから
参加申し込みができますメールやFAXでもお申込みいただけます
詳細や申し込み方法等、裏面もご覧ください

今までになかった、新しい郡山のカタチを、ここから。

～農業と福祉がつながる 地域の未来を耕すまちづくり～

農福連携とは

農福連携とは、農業と福祉が連携し、障がいを持つ人など多様な人々が農業や関連活動で活躍することで、自信や生きがいを持って社会参加できる取り組みです。農業では働き手不足や荒廃農地、福祉では障がい者らの働く場の確保や賃金・工賃向上が課題となっています。農福連携を通じて、多様な人が力や可能性を最大限発揮できる地域共生社会の実現に貢献します。

こおりやま農福連携協議会のご紹介

こおりやま農福連携協議会は、農業や福祉など地域の多様な団体や個人の連携を促進し、障がい者や就労困難者などが農林水産業で能力を発揮できる環境を創出することを目的としています。これにより、生きがいややりがいを提供するとともに、農林水産業の発展や地域活性化、持続可能な社会の構築に寄与します。こおりやま農福連携協議会は、情報共有、研修・人材育成、ネットワーク構築などの活動を通じて、地域での農福連携の推進と拡大を図ります。



<https://noufuku.npocd.jp/>



農業と福祉の連携を通じて
障がい者らの活躍の場を広げます

おもしろいを探る、未来を創造するための研修＆対話サロン

単なる座学でないのは当たり前、その上ありきたりなセミナーやワークショップでもない

今回は研修＆対話サロンを計2回にわたり展開してまいります。農福連携だからできる農業系と福祉系の皆様の対話を交え、拡がる郡山市の未来を共に描いてまいりましょう。

2月3日(火)13:00～16:30
郡山市総合福祉センター



気楽に!
楽しく!
中身濃く!

2月19日(木)13:00～16:30
ミューカルがくと館



FAX返信先 024-973-6116 / E-mail返信先 koriyamanoufuku@npocd.jp

▼申し込みについては記入の上FAX(キリトリ不要)か、内容をE-mailで返信してください▼

氏名

所属

ご連絡先

電話

FAX

E-mail



▲QRコードからも
申し込みできます